

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(2023年度・グループホームくるみ)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回開催している全体会で、全職員で運営理念を唱和し意思統一している。いつでも、振り返ることができるように要所に掲示している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策の為、地域との交流が出来ていない。地域の商店から、野菜や肉類などを購入している。出来る限り早い段階で、以前のような地域のつながりが再構築できるようにしていきたい。	コロナ禍以降、私の施設も面会制限をしております。地域との交流ができていない日々が続いているのは致し方ないと思います。そんな中、地域の商店を活用されていたりできることはしているのではないかと思います。コロナ前に戻るのは時間がかかるとは思いますが、今後少しずつ緩和していけたらよいと思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね2ヶ月に1度リモート開催をしている。できる限り、サービスの質の向上に努めている。	2ヶ月に1度のペースで開催をされ、細かく行事の報告をされたり写真などを使いながら分かりやすくされていると思います。リモート開催で、資料もしっかり出されていてよくされていると思います。今後も継続して頂けたらと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険制度や変更などで不明な点があった時には、担当部署に出向き相談などを行っている。	市町村との連携という何か問題があった時か制度が変わった時ぐらいにしか行政に行かないイメージでしたが、普段から足しげく通われているみたいで、見習いたいと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修で全職員に展開し、身体拘束しない利用者の尊厳を考えたケアを実施している。職員1人1人が、日頃のケアを振り返るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の皆さんに日頃のケアを振り返ってもらう事が大切だと思います。グレーゾーンに当たるスピーチロックなどの言葉かけをしていないかなど、毎日のケアを振り返ることでグレーゾーンに当たる行為を少なくしていけたらと思います。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、自分自身の介護を振り返ることができるよう努めている。職員1人1人が適切なケアができるように心掛けている。内部研修を行い理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和3年度の介護報酬改定に伴い来年の3月31日までに「虐待の防止のための措置に関する事項」を運営規定に定めなければならないことになりましたが、既に運営規定の中に入れて早めに準備させて頂いています。職員同士が利用者の方への発言を注意しあえる環境を作ることが虐待防止の糸口になるのではないかと考えます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護マニュアルを作成いつでも閲覧できるようにしている。定期的に勉強会を行ない理解を深めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設見学から入所契約まで、何度もご家族と話し合う機会を持ち、何度も話し合いを重ね、解りやすく説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り、運営者及び管理職がご家族と連絡が取れるようにしている。ベランダ面会時、通院時、電話対応時などに現状の報告などを含めて機会を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の職員の方から家族に本人の様子をこまめに連絡して頂けてますし、ベランダ面会も声の届く範囲で面会でできて素晴らしいなと思っています。今後も継続して頂けると良いかと思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員1人ひとり意見を伝えられる時間がある。課題や毎月、全体会を開催し課題や評価について職員同士で意見を出し合い話合っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の強みを活かすことのできるよう業務を割り振りながら、勤務実績や資格取得に合わせて、処遇改善加算及び特定処遇改善加算を支給している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の得意分野を活かせるような役割分担を割り振っています。また、施設では資格要件によって給与水準が上がるキャリアアップ制度を設けています。処遇改善加算を頂いていますが、皆さんの得意分野を活かした働きぶりに応じて一時金で支給しています。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	OJTを取り入れながら内部研修で、学びの機会がある。本人の能力に合わせて、外部研修などに参加する機会を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の勉強会を内部研修で行う時には、正職員が中心になってその月の担当職員が分からないことや日頃のケアで困っていることなどを調べて勉強し、それを発表してもらっています。職員一人一人が発表者、聴講者になることで職員全体の理解を深められたらと考えています。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者の方との交流が持てるように努めているが、現在コロナウィルスの影響で以前のような交流の機会が持てていない。今後、コロナウィルス感染症の状況をみながら以前のような交流が持てるようにしていきたい。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お手伝いなど、できる限り、自分自身で出来ることはして頂いている。本人の残存機能が引き出せるように支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為にベランダ面会及び病院通院時のみの関わりとなっている。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ段階的に以前のような関係性作りを支援していきたい。	感染症の影響がある中、よく頑張られていると思います。ご家族以外のなじみの人が施設に来にくくなった土壌ができてしまっている気がします。今後規制を緩和していく中で、いつでも来てもらっているんですよといった情報発信が必要なのかなと感じています。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の日々の言動・行動に耳を傾けながら、本人の気持ちを出来る限り職員が拾いあげられるように努めている。本人が元気だった時の得意だったことなどをご家族に話を聞くなどしている。利用者本人本位となるよう支援している。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当の利用者を職員が受け持ち評価をし、ケア担当者会議で全職員で協議した上で、ご家族に報告し、ご希望などを踏まえた上で介護計画を作成している。	職員が担当を持っており、ケアの評価を行っています。評価の意見が他の職員と違う時には、みんなで話し合い、できない事ではなくできる事に着目し、本人のモチベーションが上がるようなアプローチを心がけています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が担当を持つことで、その方をよりよく知ろうという姿勢を作っています。利用者の方をよく知ることで本人が得意なことは何か、できることは何か、利用者の方の強みを見出し、月に1度職員全員で評価することで本人の状態に合わせた介護計画を作成しています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護・介護経過記録に日中・夜間の状況を記録しいつでも日頃の様子や職員の気づきなどが確認できるようにしている。常に情報の共有が出来るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録がすぐ参考になっています。本人の表情であったり、言葉であったりを拾いあげ記録に書くことで、どういった場面で喜ばれるのか、怒られるのかということが共通認識できるような記録となっています。また、ラインワークスといったアプリ等を使用し、リアルタイムで全職員に利用者の状態が伝わるようになっています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症の予防の為、面会制限をベランダ面会のみとさせて頂いている。新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、以前の様な取り組みをしていきたい。	新型コロナウイルスに対する状況が世間一般の動向と、介護業界では違うと考えています。介護関係では制限を緩和するにはまだ時間がかかると思いますが、面会以外にも毎月施設内の活動を新聞でご家族に報告したりなど頑張られていると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、各種ボランティアの方の受け入れや地域とのつながりが出来ない。介護実習生の受け入れは、毎日抗原検査をし安全を確保した上で積極的に受け入れをしている。今後、段階を踏まえた上で地域とのつながりを再構築していきたい。	実習生の受け入れについては、実習生側も感染症に十分に気をつけられており、介護人材の育成という観点からも重要であると思います。各種ボランティアの受け入れについては、コロナ禍でだいぶ状況が変わり、以前受け入れていたボランティアの方々とも連絡が滞っていたりしますので、今後は以前のような関係性を再構築できるようにしていきたいと思っています。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医・専門医の受診は、ご家族のお話を聞きながら、決定している。入所前の病院に受診されている方なども、口頭・お手紙などその時の状態にあわせて情報の提供をしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方がご入院された時には、入院に至るまでの状況報告を行っている。常に、病院の方との情報の共有を欠かさないようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に、環境の変化から認知症の症状が強くなる方が多いようなので、前もって本人の情報をお渡ししています。情報内容としては、緊急搬送用の患者情報提供表、弊施設入所前の情報、入所後の経過、ADL 評価などとなっています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所契約時から、ご家族に基本的に重度化についての指針を何度も話している。施設機能の限界を見極め、ご家族とその都度話し合いを重ね合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取りをしない施設であることを入所前からご家族にお伝えしています。認知症の激しい方で自立度の高い利用者の方と、重度化した方とのケアを両立することが難しい現状があります。また、当施設は、医療面が弱い部分があります。その分、認知症が進行し BPSD が出ている方などをお受け入れして、施設生活を送ることで落ち着いた生活をされています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるようにしている。定期的に、緊急時対応の研修や訓練を行い理解を深めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	6/26に夜間帯を想定した避難訓練を利用者の方を含めて実施している。今後も定期的に感染症予防も踏まえて実施していきたい。	令和3年度介護報酬改定において2024年4月までにBCP策定の義務化がありました。現在、BCPの内容について運営者とも話し合いながら策定している所です。交流センターが海拔8m弱で学習館が海拔13mくらいあるとの話がありました。参考にして下さい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設が浸水した時の避難訓練については行えていません。感染症などが収束する時機をみて、図上訓練を個別で行いたいと考えております。地震や台風で建物が倒壊した時には、学習館に避難をする予定になっています。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念に人格を尊重する介護を掲げている。権利擁護、プライバシー保護についての内部研修を定期的に行い全職員でその内容と理解をし知識の向上に努めている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄時には、トイレ等のドアを閉めて他の方から見えないように配慮しています。認知症の方の中には、本人が暑いのか皆さんの前で洋服を脱がれて下着になられる方がいます。そういった時にはバスタオルをかけるなど他の方から見えないように配慮しています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中で、できる限り職員と一緒にお手伝いや個別レクリエーションなどを利用者一人ひとりの気持ちに合わせて行っている。必ず、職員が労いの言葉掛けをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合った食材を使用した料理を提供し会話を利用者同士が楽しみながら食事を食べられるように努めている。利用者の方にお盆拭きやテーブル拭きなどのお手伝いをお願いしている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方にできるだけお手伝い等で関わって頂いています。グループホームは、ご飯を一緒に作ったり、朝ごはんを炊いているごはんの匂いや包丁で野菜などを切っている音などの生活音で起きたりといったイメージあるので、それを大切にしています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が、バランスの良い食事が食べられるように工夫して献立を作るよう努めている。一日の飲用の水分量を記録に取り、出来るだけ飲用して頂けるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の後には、口腔内の清潔が保てるように声掛け誘導し口腔ケアが適切にできるように支援している。夜間帯には、義歯をお預かりし消毒などをし清潔が保てるようにしている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間、入れ歯をお預かりするのですが「預けたくない」と言われる利用者の方もいらっしゃるのが現状です。そういった方に対しては、眠られた後にお預かりし消毒など行っております。入れ歯は水につけていないと乾燥して変形するようなこともあるので、今ある義歯を大切にしていきたいと思っています。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを記録に取り、できる限り、日中・夜間共にトイレでの排泄が促せるように努めている。本人が、失禁などがあった時に自尊心を傷つけないように職員が介入をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	弊施設では、ポータブルトイレを使用しておりません。運営者が入院してポータブルトイレを使用した時にカーテンの仕切りだと不安な気持ちになったので、トイレでゆっくりとして頂きたい気持ちがあります。清潔保持の観点からもトイレの方が良いのかなという思いがあります。職員一人一人が利用者の方に合わせて介入させて頂いています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り週3回入浴して頂けるように努めている。その時に利用者の方の気持ちに合わせて、翌日に入浴を変更したり時間を調整するなどができるよう融通性のある支援をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調や生活状態に合わせて居室で休んで頂いている。定期的に、布団干しやシーツを洗うなど心地よい睡眠が確保できるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2名の職員で日付けと名前を確認した上で、服薬介助を行っている。薬事情報を職員がいつでも確認できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ1年間、誤薬はありません。以前、誤薬があった時に2名の職員で確認作業をマニュアル通りにしていてもミスが起こることがあると思いました。服薬ミスは100%職員のミスであると日頃から職員の皆さんと話しており、気をつけて服薬介助を行うよう意識しています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの今現在できることに着目してお手伝いやレクリエーションなど取り組んで頂いている。お手伝いの後には、必ず職員が労いの言葉掛けをしている。	今現在できることを大切にすることが大事だと考えています。感謝の気持ちや労いの言葉をかけることで利用者の方との距離が縮み信頼関係を結ぶことが出来ると思います。ケアプランにも取り入れています。認知症の方でも、役割がすごく本人にとって大切な事であるとの話が研修でありました。労いの言葉をかけるといったケアプランはなかなかないですが、職員に浸透するのかなと思います。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外は外出制限中である。今後、コロナウイルス感染症が収束した際にはコロナ禍以前の暮らしができるようにしていきたい。	正月明けから新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎などが職員に出ています。十分に気をつけて行きたいと思っております。感染症が、流行しているので、その中で面会などできることをされているので良いかと思います。今後、感染症が収束した時には外出支援などもされていかれればと思います。大事に越した事はないので、今の状況が続けるのが大切じゃないのかなと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	お小遣いを施設でお預かりしていつでも使用できるようにご本人に話をしている。コロナ禍になるまでは、外出した時のおやつ代などとして準備している使用していた。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次ぎはいつでも行っている。年賀状などの時効の挨拶など書く事が出来ない方は、塗り絵や芋版などアイデアを活かした絵葉書にして送付している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示物などで、利用者の方々に作成して頂いた季節に合わせた作品を飾ったり、その月の誕生日の方の情報などを掲示している。施設全体の温度管理に努めながら、適切に喚起が出来るように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設を設計する段階から、「生活スペース」「居住スペース」を分けて作っております。フロアの周りにお部屋を造ることが基本ではありますが、日中居室で休みたいと戻られる時も距離があるので運動になるかなとも思ったりですね。分けることで夜間時も素早く対応できたりしています。フロアにテレビが2つあるので、ソファを要所に配置しながらテレビの選局で争いが起きないようにしています。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の日頃の言動や行動を記録にとり、把握している。ご家族と話す際に確認している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から本人、ご家族にご自宅での生活などを聞き、ケアに役立っている。特に、ご家族や趣味、以前のお仕事のことを中心に話を伺っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に訪問看護ステーションの方が訪問され、日頃の健康チェック、24時間電話での対応、緊急時の訪問など本人の状態にあわせて支援して頂いている。概ね月に1度のペースでケア担当者会議を開催し生活全体のケアを見直している。		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員1人1人に担当の利用者を受け持つて頂き、担当職員に評価して頂いて、それを基にケアマネジャーがケアの方向性を決めています。法人として、本人の状態に沿ったケアを行うように努めています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り、利用者本人の思いや意向の把握をし本人本位になるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、ご自宅で使用されていた家具や布団などを持ち込んで頂けるようにご家族にお話ししている。ご家族には、できる限り生活臭のする、枕や布団などを持参して頂けるように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	枕や布団など在宅で生活していた時の生活臭のする物を持ってきて頂けるようお願いしています。入所して1ヶ月は棚やタンスなどの持ち込みは、夜間帯の歩行状態などの様子をみながら持ってきて頂いています。ガラスの嵌まったタンスは、危険性があるため遠慮して頂いています。

45		<p>本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防の為、外出制限をさせて頂いている。コロナが収束した際には、早期でコロナ禍前の生活に戻れるようにしていきたい。</p>	<p>同法人の他施設で、利用者の方が新型コロナウイルス陽性になられたのですが、その時の対応時に職員が2名辞められました。職員が2名辞められたことで運営が難しくなったこともあり、感染症を施設に入れないという観点から外出には消極的になっている所があります。入居者を思っでの評価をされているのかなと思います。収束したら早期に再開したいとのことだったので、自分の施設も見習いたいです。</p>		
46		<p>本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>今現在、本人ができること、できないことを把握しながら、職員と一緒にお手伝いやレクリエーションに取り組んで頂いている。お手伝いをして頂いた後には必ずありがとうの気持ちを言葉で伝えている。</p>			
47	<p>本人が持つ力の活用</p>	<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>利用者同士が、顔見知りの関係が構築できるようにしている。利用者1人1人が共に支え合って生活をされている。利用者の方々1人1人が今現在できることを大切にケアを心がけている。</p>		<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>フロアで過ごす時間が多くなるように支援しています。新しく入所される利用者の方には、居室にTVを持ち込むことは6ヶ月は待って頂いています。他の利用者の方や職員とも顔見知りの関係になるように、テレビを観る為にお部屋に籠りきりになってしまわないようにしたいという思いからです。皆さん、顔見知りの関係ができるとホールで他利用者と一緒にTVを見られますので、居室にTVを持ち込みたいと言われる方はいません。</p>

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染症対策として、地域の方々やボランティアの皆様の来所を控えて頂いている。新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況を勘案しながら早い段階で交流できるように努めていきたい。</p>	<p>介護実習の方だけは、毎日抗原検査をして頂きながら実習に入ってもらっています。消防訓練も施設職員だけで行っている状況です。消防団の方に来て頂けるようにしていきたいと思っています。つながりの再構築をすることが必要と思っています。</p> <p>今の現状では、致し方ないと思います。新型コロナウイルスやインフルエンザもありますし、感染症に対する認識がコロナ禍の中でだいぶ変わって、ご家族の理解も得られるんじゃないかと思っています。</p>		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、なかなか地域の方々との接触が出来ていないが、施設内では本人が出来ることを大切に、家事のお手伝いなどを通して交流を楽しみながら、よりよい暮らしがおくることできるように努めている。</p>	<p>現在の状況の中で、よくやられているのではないかと思います。地域の方々の受け入れというと、ボランティアなどを思い浮かべますが、職員さんだったり、介護実習生の方も来られていますし、移動図書も利用されているというお話もありました。今後も活動を継続して行ってほしいと思います。</p>	<p>A. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>広い範囲になりますが、職員も地域の方と捉えて良いのであれば、家事のお手伝いが中心になっていますが、お互いに助け合うことがコミュニケーションの一環としていいのかなと思っています。現状では、施設内でできるだけコミュニケーションや楽しい時間を過ごせるようにしています。</p>